

第2日目 2023年9月3日(日)

午前の部 10:00~12:30

### 開催校企画テーマセッション

## 地方社会で生きる外国人住民の暮らし・仕事・学校 —地域研究から迫る兵庫県豊岡市の事例—

司会 佐々井司 (福井県立大学)  
オーガナイザー 平井晶子 (神戸大学)  
討論者 山根真理 (愛知教育大学)

### 【企画趣旨】

神戸大学社会学研究室では1980年代から兵庫県豊岡市を含む但馬地方の農村部を対象とした地域研究を開始し、都市部とは異なる地方社会の構造について実証的な研究を蓄積してきた(佐々木編, 2007; 藤井・高井・小林編, 2013)。2000年以降は国際結婚や移住労働による地方社会の変容にも研究の射程を広げている(藤井・平井編, 2019)。こうした研究蓄積のうえに、2019~2021年には「豊岡市・神戸大学共同研究:外国人住民に関する調査研究事業」として、豊岡市役所をはじめ各種機関・支援団体との協力のもと外国人住民調査を行ってきた。調査対象は住民、事業者、支援者など多岐にわたる。本プロジェクトには研究者や院生など15名以上が参加し、外国人住民ならびに事業所へのアンケート調査、両者への聞き取り調査、各種支援者や小中学校、認定こども園・保育園・保健師などへの聞き取り調査などを行った(佐々木・平井編, 2023(予定))。

本セッションでは、3年間の豊岡市との共同研究を中心に、それまでの地域研究の成果や2022年以降の追加調査の成果も含めて、外国人住民をめぐる地方社会の実態・課題・新たな可能性について報告する。司会は、同じように福井県で地方社会の外国人住民研究に着手されている佐々井司氏にお引き受けいただいた。また討論者は、都市、地方いずれの家族/家族研究にも造詣の深い山根真理氏にお引き受けいただいた。地域研究を軸に展開している私たちの外国人住民調査が家族社会学的に見てどのように位置づけられるのか、本セッションを通して議論できればと考えている。

### 文献

- ・佐々木衛編, 2007『越境する移動とコミュニティの再構築』東方出版。
- ・藤井勝・高井康弘・小林和美編, 2013『東アジア「地方的世界」の社会学』晃洋書房。
- ・藤井勝・平井晶子編, 2019『外国人移住者と「地方的世界」—東アジアにみる国際結婚の構造と機能—』昭和堂。
- ・佐々木祐・平井晶子編, 2023(予定)『1%の隣人たち—地方的世界に生きる外国人住民—』昭和堂